

■このテキストを使っての学習方法■

・ Dictation (書き取り)

まずは Dictation をします。

テキスト部分の英語を何度も繰り返し聞いて、聞こえた通りの英語を書いています。文章を書き取るのが難しい場合、聞こえた単語だけでも書いていきます。単語のつづりが分からなくても気にせず、適当に書いておけば OK です。もうこれ以上は聞き取れない、という状態が Dictation 終了の目安です。

Dictation を行うと、ものすごく集中して英語を聞くことになります。集中して英語を何度も聞くことが、この後の学習に生きてきます。

・ テキストの日本語部分を一読

次に一通りテキストを読んでみてください。

英語の固まりを読み、すぐにその下の日本語で意味を確認します。文頭から順番に、英語の語順のまま、意味をとらえてみてください。

分かりづらいと思われる部分は解説を入れています。

このように青色で文頭をずらして書かれている部分が解説です。

※当テキストは私の有料メルマガで配っているテキストの一部分を抜き出し、加筆したものです。日本語訳がしてあるのは一文のみですので、そのほかの英文は字幕などを参考に意味を取ってみてください。

・ 音読

一通り英文の意味が頭に入ったら、英語のみのページを使って音読を繰り返してください。

音読の目安は、よどみなくスラスラと英語が言えるようになることです。

そうすることで、次のステップの「お手本を真似る」がやりやすくなります。

・ お手本の英語を真似る

スラスラ英語が言えるようになった後は、お手本の英語と同じように言えるように練習します。

オーバーラッピング、シャドーイングなどを繰り返し行って、お手本の英語のイントネーション、アクセント等、全て真似をします。

「物まね」をするくらいのつもりで練習しましょう。

ある程度練習をした後に自分の声を録音、お手本と比べるという作業をします。これにより、自分の英語を客観的にとらえることができますので、改善点を自分で見つけることができます。

・学習度チェック

最後にどのくらい学習ができたかのチェックをします。
学習した部分の英語を、テキストを見ないで、字幕も使わずに聞いてみてください。
言っている英語が聞き取れる、そして、その意味が分かる。
その状態であれば、そのテキストは合格です。
次のテキストに進んでも大丈夫です。

以上、ざっとではありますが、「英語の練習」の方法を説明しました。

「英語の練習方法」につきましては、私の無料メール講座で詳しく説明しています。
まだ、メール講座を受講していない場合は、今すぐ登録することをおすすめします。
このテキストを有効活用するために必要な情報をお伝えしていますので、以下よりご登録ください。

メール講座のお申し込みはこちら

<http://y0shi.blog36.fc2.com/blog-entry-395.html>

(私のブログ「楽楽！英会話」へのリンクです)

■このテキストを作っている yoshi について■

テキストを手にとりいただき、ありがとうございます。
楽楽！英会話というブログを書いています yoshi と申します。

兵庫県丹波市にて、大人の方へ英会話レッスン
また、スカイプを使っての英会話レッスンを提供しています。

映画を使って自然な英語を楽しみながら身につける方法を指導しています。
楽しんで英会話の学習をしていただければ嬉しいです。
よろしく願いいたします。

yoshi にメッセージ：<http://my.formman.com/form/pc/i3ZF3ZDR0NFnHL0p/>

ブログ：<http://y0shi.blog36.fc2.com/>

twitter：https://twitter.com/yoshi_english

facebook：<http://www.facebook.com/yoshi0122>



249 Mentalist-S01-E01-02 06:18 - 07:35

■今日の一文■

Jane: An innocent man would have punched me by now.
 無実の男はすでにパンチしているだろう 私を 今までに

would が出てきたら仮定法を疑ってください。
 仮定法とは、現実とは違うこと（想像のこと）を言うときに使う文法です。
 現実とは違うことを言うので、時制を一つ過去にして直接物事を言うのを避けま
 す。（この部分は分かりづらかったら無視して大丈夫です）

- 1、現実とは違うこと、想像の物事を言うとき
 - 2、時制を実際より一つ過去にする
- この2点を頭の隅において置いてください。

ここでは、「(実際にはあなたは殺人犯だけれども) もし、無実であるならば、も
 う殴っているはずだ」という意味で仮定法を使っています。

仮定法を習得するポイントですが、
 まずは仮定法の文章に慣れることが重要です。
 沢山の仮定法の文章に触れ、そのたびにしっかりと練習をしてしまうことです。
 このときに、意味が曖昧でも、自分で文章を作れなくても大丈夫です。
 まずは慣れてしまってください。

沢山の文章に触れたその後で、参考書などでお勉強してみてください。
 すんなり仮定法が理解できるはずですし、自分で作れるようにもなるはずです。

まずは慣れる、その後にお勉強、この順番が大事です。
 この文章は仮定法なんだと意識して、しっかり練習しておいてください。

前回のボソボソとした英語に比べて、今回の英語は言い争っていますので大きな声で
 はっきり発音されています。
 また、前回よりも短めのテキストになっています。
 ですので、今回は真似しやすい条件がそろっています。
 しっかりとお手本の真似をしてみてください。

Morgan: June. There you are. Hi. Who are you?

Jane: I'm the police. Did you kill your daughter?

Morgan: How dare you?!

Jane: I asked you a simple question, sir. Did you kill your daughter?

Morgan: No, I did not kill my daughter! Now you get the hell out of my house!

June? June, what's the matter with you? I'm going to have your badge!

Jane: An innocent man would have punched me by now.

Morgan: I am going to make life miserable for you! You come in here. You accost my wife. You cause trouble... June. June, honey, please...

Jane: Honestly. It's not as bad as it looks.